



自民党・無所属 大阪府議団だより

平成30年度10月の警察常任委員会で

奥田えつお府議が 北助松駅前交番の建替えを要望しました。

プロフィール 泉大津市・高石市及び泉北郡選出

昭和30年5月 高石市生まれ。昭和53年3月 近畿大学商経学部卒。平成7年4月 高石市議会議員初当選、高石市議会議員。近畿大学校友会常任幹事、高石市少年軟式野球協会副会長、高石市柔道連盟名誉会長。平成27年4月 大阪府議会議員初当選。都市住宅常任委員会副委員長、健康福祉常任委員会委員、都市住宅常任委員会委員長、警察常任委員会委員。環境農林水産常任委員会委員長。自民党・無所属大阪府議会議員団 副幹事長。

北助松駅前交番が 建替えリニューアル



老朽化が進んでいた、北助松駅前交番が本年2月末完成の運びとなりました。昭和42年建設され50年以上経過する中、多くの市民の皆様から建替えの要望があり、一昨年10月警察常任委員会において、「北助松駅前周辺は、旧来からの住宅やオフィスなどが混在する市街地で、交番は地域住民の安全安心な拠りどころであり、犯罪の抑止という観点からもその果たす役割は非常に大きなものであるため、北助松駅前交番の建替え事業を着実に進めるよう」要望いたしました。建替えにより、交番勤務の警察の方々の安全と北助松駅周辺の安心・安全がよりいっそう図れるものと期待しております。



▲建て替え工事中の北助松駅前交番



▲北助松駅前交番完成イメージ

高石市の工場夜景を眺める市道高砂1号線が ビュースポットおおさかに選ばれました！

大阪府では、世界に誇れる大阪の魅力ある景観を眺めることのできる場所（ビュースポット）を発掘・発信し、府域全体の良好な景観形成を推進するプロジェクトを進めています。

昨年9月、ビュースポットとして135件の応募があり、その中から「ビュースポットおおさか第1回選定」として28か所が選定され、高石市の工場夜景が入選しました。

又、府域に点在する地域資源をテーマ・ストーリーを取りまとめ、地域の魅力の発信に対する補助を実施しています。今回、工場夜景魅力発進事業として補助決定されました。

工場夜景魅力発信事業	[アートを感じる・見つける ぶらりまちあるき] アートを軸に、泉北地域の「美」をめぐるストーリーをつくり、インバウンドを含めた観光誘客を促進する。
申請テーマ	生活・文化・アート・自然・景観
実施団体	全国工場夜景サミットin堺・高石実行委員会
補助事業の内容	■ 複数の工場夜景スポットをめぐるバスツアー実施 ■ 工場夜景フォトコンテストの実施 ■ 工場夜景ノベルティグッズの政策
交付決定額（単位：千円）	2,050



▲ビュースポットおおさかに選ばれた高石市の工場夜景

岩手県復興状況管外研修



昨年、11月議員団14名で、岩手県陸前高田市、大船渡、釜石市、大槌町へ復興状況の研修調査に行っていました。陸前高田市では、（海岸防潮堤、気仙川水門）、大船渡駅周辺復興状況、釜石港港湾防波堤、ガントリークレーン他、ラグビーワールドカップが開催された釜石鶴住居復興スタジアム、大槌町では、旧庁舎付近の整備状況、復興拠点施設、災害公営住宅等を見学、研修させていただきました。

今回は、平成28年2月に派遣されていた大阪府職員の激励をかねて、復興状況の調査に行かせて頂いてから3年9カ月が経過しましたが、前回に比べると、復興は大幅に進んでいたものの、まだまだ課題は多いようです。

堺泉北港助松埠頭のガントリークレーンが、釜石港で活躍中！

今回私が特に気になっていたのが、地元で長年活躍してくれていたガントリークレーンが、平成29年8月釜石市に無償譲渡され、その後クレーンの稼働状況はどうなっているのか？荷役能力は向上しているのか？など、県の職員さんに聞かせていただいたところ、稼働率も能力も以前に比べ大幅にアップしているそうで、大変感謝して頂きました。私は、地元で活躍してくれていたガントリークレーンが、岩手県の復興のシンボルとして地元経済や産業振興の発展に繋がるものと、大きな喜びを感じさせていただきました。

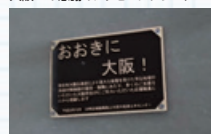


▲陸前高田 総延長1.8kmの防潮堤が完成

クレーン上部に、友好の証である
岩手県章と大阪府章が輝いていました！



完成した防潮堤に貼り付けられている
大阪への感謝のメッセージプレート



地元新聞に掲載されました！

大阪府議会の自民・無所属議員団、府が無償譲渡した
釜石港のガントリークレーンを視察

11/29(金) 13:00頃

東日本大震災の復興状況視察のため大阪府議会の自民党・無所属議員団14人が29日、岩手県釜石市の釜石港を訪れ、震災復興支援で大阪府から岩手県に無償譲渡されたガントリークレーンや港防波堤、甲（かつ）子（し）川水門を見学した。

同議員団の釜石港視察は平成27年4月4日4度目。前回の視察時点でガントリークレーンの無償譲渡が関係機関で調整が進められており、同議員団も視察を後押しした経緯がある。

平成29年に釜石港から釜石港に移設されたガントリークレーンは港内初の施設。海外航路が開港後、新たな物流拠点が釜石市内に設けられるなど震災復興に大きく貢献している。

三陸沿岸道釜石港など道路建設の整備で、釜石港のコンテナ取扱量は30年に7000TEU（1TEU＝20フィートコンテナ1個）を超え、10月末で前年実績を突破、年々増加している。

国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所の案内で船上からガントリークレーンを視察した議員団の山田松秀政議員は「大阪が復興の石役を立てて誇りに思う」と感謝の言葉を述べた。

議員団は昨年3月に韓国に訪れた際に「世界で一番深い防波堤」（水深63メートル）に認定された甲子川水門を訪れ、津波対策で鉄筋コンクリートが35・5メートルもある甲子川水門を見て感動した。

議員団副団長は「南海トラフが30年以内に80%の確率で起こると予想されており、防災にしっかり取り組まないと大変なことになる」と話していた。

羽衣学園高等学校が、令和元年度 大阪府安全なまちづくり ボランティア団体として表彰されました

表彰式は、令和元年10月29日午前11時から、府庁本館5階正庁の間で行われ、私も地元議員として出席させていただきました。同高校は、小学校の下校時間にあわせて、各小学校校区をそれぞれのクラブ単位で、ジョギングをしながら行うパトロール活動（通称ジョグパト）を行い地域の防犯活動に取り組まれています。また、学生自ら地域の会合に参加したり、活動マップの作成など防犯意識の向上に努めており「学生を主体とした防犯活動」を推進し地域に貢献されています。団体表彰、誠にありがとうございます。今後も、地域の安心安全にご尽力賜りますようお願いいたします。



▲令和元年度 大阪府安全なまちづくりボランティア団体表彰式